

2021(令和3)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	島ヶ原支所
役職	支所長
氏名	谷口 順一
2021(令和3)年度の抱負	地域住民が自らの地域について考え、取り組むための積極的な情報提供と支援を行います。



業績目標の達成状況 5. 先進的な取り組みを行い、成果があった 4. 達成水準を上回る成果があった 3. 業績目標を達成した 2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった 1. 業績目標に取り組まなかった
--

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1			
市民・まちづくり協議会との協働・連携による地域づくりの推進(地域課題に柔軟に対応)	公共施設最適化の推進	<p>〈現在の状態〉 支所、市民センター、会館、老人福祉センターの機能移転による複合化の計画がされているが、進捗していない。 ↓ 〈達成目標〉 4施設の機能移転について十分に協議がされ、地域住民に周知されている。</p> <p>※目標が達成した状態 公共施設最適化実施計画に年度計画されている。</p>	まちづくり協議会への十分な情報提供と協議を行なう。
◎部局目標2			
市民から信頼され、市民満足度の向上につながる適切な行政サービスの提供	質の高い市民サービスの提供	<p>〈現在の状態〉 迅速・正確・丁寧な対応に心がけているが、更に質の高いサービスが求められている。 ↓ 〈達成目標〉 窓口業務は適格、迅速に対応できる。 親切、丁寧な接遇ができる。(リスクチェック、クレーム件数 5件以下)</p> <p>※目標が達成した状態 地域住民に親しまれ、信頼され、身近に感じられる行政となる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 来庁者へのあいさつ、職員間のあいさつに心がけ、明るく活気に満ちた支所づくりを推進する。 2. 職員間とおして情報共有を密にし、担当者不在でも互いの仕事をフォローできる体制をつくる。 3. 接遇研修への積極的参加を促す。4. 本庁との連携を密にし、円滑に事務事業を進める。

達成状況(自己評価)	理由
2	これまで、地域住民は保有する施設は出来る限り残したいとの意見があったが、支所廃止(案)に伴い、機能を重視した支所移転案には、一定理解を得られたと感じているが、移転経費に多額の予算を有することから、白紙となっている。過疎計画にも公共施設の最適化を位置付けており、機能が重視されたコンパクトな公共施設について継続して進める必要がある。
3	市民からのクレームも1件受けたが、来庁者に対し丁寧な対応を心がけることが出来た。職員が互いにフォローできる体制もできている。またマイナンバーの手続きや諸証明発行においては地域住民だけでなく近隣地域住民の来庁もある中、迅速に対応できた。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標3	防災対策を意識した適切な支所管内の道路や施設等の維持管理	<p>〈現在の状態〉 道路等の維持管理や環境整備について、まちづくり協議会や各地区から多くの改善要望が出されている。また保有施設も老朽化してきている。</p> <p>↓</p> <p>〈達成目標〉 地域住民からの要望、情報に対し、的確な対応と処理、改善を行うことができる。(リスクチェック、クレーム件数 5件以下)</p> <p>※目標が達成した状態 安心安全な生活環境が保たれている。</p>	1. 道路や施設のパトロールや点検を実施(月1回以上)し、常に現場を確認し、危険箇所、補修箇所の発見に努め、安心、安全な地域づくりを行う。
市民から信頼され、市民満足度の向上につながる適切な行政サービスの提供			

達成状況 (自己評価)	理由
▶ 4	地域からの改善要望箇所や危険箇所発生の連絡等には、確認作業について直ぐに実施し、対応することが出来た。また、自然災害等の発生が懸念される場合は、事前の見回りや対策についても実施した。地域からの評価も高い。